

## 「新あいち多文化共生推進プラン(仮称)」の策定について

### 1 多文化共生推進プランについて

プラン名	計画期間	目的
あいち多文化共生推進プラン	H20～24	外国人県民の増加と定住化への対応
あいち多文化共生推進プラン2013-2017	H25～29	永住化の進行に対する対応
新あいち多文化共生推進プラン(仮称)	H30～34	ライフサイクル全般に渡る支援 他

### 2 新プラン策定の背景

#### ① 多国籍化の進行

本県の外国人は、平成20年まではブラジル人を中心に右肩上がりに増え続けたが、その後、景気後退等により減少が続いた。しかしながら、平成25年から再び増加に転じている。減少の間も、フィリピン、ベトナム等のアジアの人達は続け、多国籍化が進行している。

#### ② 在留資格の多様化

「永住者」の在留資格を持った外国人が増え続けている一方で、「技能実習」「留学」「技術・人文知識・国際業務」等が増えており、在留資格の多様化も進んでいる。

#### ③ 進化する外国人県民の意識と変わらない日本人県民の意識

在住期間の長期化、在住地域の散在化により、外国人県民の社会参画意識は強くなってきており、支援される側から支援する側になっている事例も散見されるようになった。しかし、その一方で、日本人県民の多文化共生に対する意識はあまり進んでいない。

### 3 プランの策定体制

#### ① 新あいち多文化共生推進プラン(仮称)庁内連絡会議<2回>

関係課室を集め、他分野との連携を図り、実効性のあるプランとするための検討を行う。

#### ② 新あいち多文化共生推進プラン(仮称)検討会議<3回>

外国人県民も暮らしやすい地域づくりを推進するため、生活環境など多文化共生に関わる各テーマの有識者を集め、行動目標や施策の基本方向について検討を重ねる。

#### ③ タウンミーティング、若い世代との意見交換【新規取組】

県民の意見を幅広く取り入れるために、プラン策定では初めてタウンミーティング開催する。また、若い世代からの意見・提案もプラン策定に活かすため、名城高校とセッションを行う。

#### <タウンミーティング>

	開催日	テーマ	場所
第1回	7月15日(土)	防災・まちづくり	岡崎市
第2回	8月5日(土)	子育て・教育	名古屋市
第3回	9月2日(土)	就労・起業	豊橋市

#### <名城高校との多文化共生セッション>

	開催日	テーマ
セッションⅠ	5月26日(金)	ライフサイクルに応じた外国人支援
セッションⅡ	6月16日(金)	外国人の活躍による地域活性化
セッションⅢ	7月14日(金)	日本人の外国人に対する意識改革
ジャム・セッション	9月8日(金)	(中間報告)
発表会	10月6日(金)	(公開で開催)

#### 【検討スケジュール】

平成29年6月 第1回検討会議 (9月に第2回、11月に第3回をそれぞれ開催)  
5月～ 名城高校セッション、タウンミーティング  
平成30年1月 案をパブリックコメントで説明  
3月 公表

#### 【検討の方向性】

##### ① ライフサイクル全般に渡る支援

外国人の永住化のさらなる進行に伴い、生活のステージにおいて、日本人県民と同様の課題が起きつつある。そこで、各施策を個別に考えるのではなく、福祉分野等の他分野との連携も視野に入れながら、ライフサイクル全般に渡る支援の検討を行う。

##### ② 双方向の視点

外国人県民の中には、日本人県民とともに地域の担い手となる方も現れてきているため、支援される側／支援する側の双方向の視点を持って施策を検討する。

##### ③ 分かりやすい情報発信

日本人県民の多文化共生に対する理解があまり進んでいない中、幅広い手法を活用するなど、分かりやすく多文化共生の意義等を伝える取組を進める。